



平成27年1月
創刊号

ならはみらい 季刊誌

ともに輝け あなたの未来 檜葉のみらい



上繁岡大堤から飛び立つ白鳥

〈ならはみらい理念〉

檜葉町が魅力ある町として再生していくためには、町外からの応援や共感を獲得しつつ、町民自身がまちづくりに主体的かつ積極的に関わっていくことが必要です。さらに、地域の経済・産業を立て直し復興を加速させるためには、復興需要を域内で循環・再投資するなどの仕組みづくりが不可欠です。

一般社団法人ならはみらいは、「檜葉町の再生のために、新たなムーブメントを起こしていく触媒的な役割」を果たし、また、「町民、地元企業が行政と協働して行うまちづくりを主導する役割」を果たします。

ならはみらいが目指す復興



ごあいさつ



平成26年6月30日に設立した一般社団法人ならはみらいの社員、事務局員を紹介いたします。



渡邊清代表理事

平成27年の年頭にあたり、皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様には日頃よりならはみらいに温かいご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。このならはみらいは、町の復興計画を議論していた中で、檜葉町の真の復興を実現するためには「町民が主体となったまちづくりを主導する組織が必要である」という事になり、検討プロジェクトチームが発足しました。そして、発起人12名による設立準備会が立ち上がり、検討を重ねて、設立を迎える事となりました。町は、原子力災害と長期避難により多くのものを失ってきました。これからは、新たな「みらい」を築いていかなければなりません。この「ならはみらい」は、理念の基礎にある「きずな・安心・活力」を取り戻すことを目指して、まちづくりに貢献できるよう町民のみなさまと一緒に取り組んで参ります。また、町外からも幅広い応援を頂きながら、真の復興を実現するために進んで参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。この新しい年が皆様にとって笑顔と希望に満ちた明るい年となりますよう、心からご祈念申し上げ挨拶と致します。



蛭田勇成専務理事

平成27年の新年を迎え、町民の皆様には、震災以来4年という歳月を振り返りながらも、ご家族との絆を深めるなど、新たなスタートを切られたものとご推察いたします。「ならはみらい」は町の真の復興を目指し、皆様と共に様々な課題に取り組んでいきたいと平成26年6月30日に出発をしました。そして6ヶ月、役場当局を始め多くの方々のご協力を頂きながら、常に「今何が求められているのか」「そのために何をすべきか」を念頭に業務を運営して参りました。その中で、原子力災害と長期避難生活が皆様の日常に大きな影を落としている事を改めて認識致しました。しかし一方、町民同士のふれあいの喜び、町の暮らし、町の風物への想いなど「故郷檜葉」は皆様の心の中に脈々と息づいております。「ならはみらい」は、その皆様の「心」を町の再生につなげていけるように、まだまだ力不足ではありますが職員一同懸命に取り組んでいきたいと思います。皆様にとって平成27年がより大きな可能性に満ちた年となりますようご祈念申し上げ挨拶と致します。

理 事 宍戸陽介 近藤邦彦 渡辺益子

幹 事 志賀由起夫 松本栄樹

社 員 猪狩克栄 加藤大蔵 高木竜輔 猪狩誠 樋口浩子



古市寿正事務局長

新年明けましておめでとうございます。平成26年6月30日一般社団法人ならはみらいが設立され、町民の皆様のご協力のもと種々事業を展開してきました。今年も町民の皆様の様々な不安の解消・生きる活力・絆づくりのための各種事業展開により、皆様の思いに少しでも応えられるよう、また、町に目を向けて頂けるよう事務局職員一丸となり頑張っていきたいと思いますので、皆様のご理解ご協力をお願い致します。

事務局 歳森健司 新田勇太 山本尚樹



これからどうぞよろしくお願ひいたします



第14回 楢葉町町民号特集

笑顔の再会

スケジュール



11/18 (火)	いわき駅改札前集合 いわき駅 → 湯本駅 → 泉駅 → 植田駅 → 勿来駅 → 水戸駅 → 上野駅 → 東京駅 → 名古屋駅 → 名古屋城 → 白川IC → 朝熊IC → 鳥羽シーサイドホテル
11/19 (水)	鳥羽シーサイドホテル → 伊勢神宮外宮（豊受大神宮） → 伊勢神宮内宮（皇大神宮） → 鳥羽港 ～ 伊勢湾フェリー ～ 伊良湖港 → 三ヶ日IC → 焼津IC → ホテルアンビア松風閣
11/20 (木)	ホテルアンビア松風閣 → 焼津IC → 新富士IC → 白糸の滝 → 河口湖：名物ほうとう → 構成遺産：忍野八海 → 山中湖 → 東京駅 → いわき中央IC → いわき市：各降車場所へ

参加された方々の声を紹介します。

上小塙 女性

しばらくぶりで楢葉町町民号に参加致しました。年齢も重ねて体も心配で今回が最終かなと感じつつ参加をしました。2泊3日の旅を通して懐かしい方々と接しうれしく懐かしく感じ楢葉町でみんなと元気に活動していた婦人会活動が思い出されました。素晴らしい名古屋城の見学、伊勢神宮のお参りなど素晴らしい体験をすることが出来ました。今後、楢葉町へ帰町に向けて元気に頑張っていこうと思っています。また、素晴らしい町民との再会の機会を楽しみにしています。



名古屋城

松館 女性

食事作りの単調な生活を忘れ大変楽しい3日間を過ごす事が出来ました。宴会の中で懐かしいふる里の映像を見ながらみなさん目頭を拭う姿が印象的でした。みんなふる里への想いが強いのだと改めて感じました。また参加したいと思います。

大谷 女性

初めて町民号に参加しましたが皆さん元気いっぱいで明るく楽しく過ごす事が出来ました。今後も町民同士の交流の場を設けて頂きたいと思います。また、思考を変えて若い人達も参加できるものがあれば良いと思います。今後若者が帰れる楢葉、帰りたい楢葉を目指して頑張ってください。

下井出 女性

これまで参加した事がなく震災後皆さんとバラバラになり皆さんと語り合いがしたく申込をしました。当日までの時間が待ち遠しかったです。懐かしい皆さんに会い嬉しくなりました。この旅が終わり現実に戻るとまた決めかねている事に向き合わなければなりません。楢葉の山河を思うと戻りたいがはたして安心して生活が出来るのか、畑など作物作りが出来るのか不安です。また家族とこれからのことについて話をしたいと思います。



鳥羽シーサイドホテルで木遣隊の披露

下小塙 男性

久しぶりにお会いした町民の方々、今までお話をしたことがなかった方とのコミュニケーションができとても良かったです。また夫婦で参加したいと思いますので次回を楽しみにしています。



伊勢神宮外宮参拝

山田岡 女性

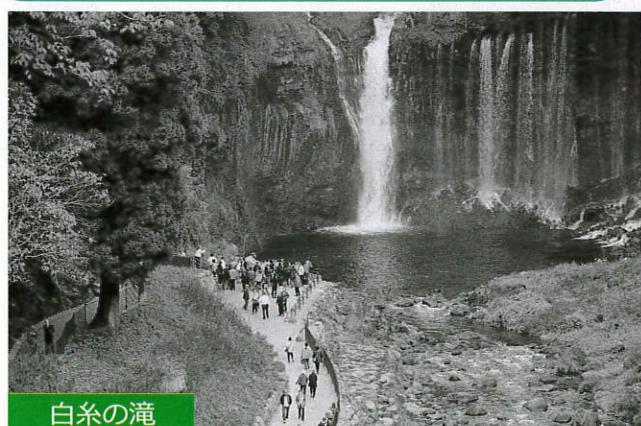
朝早く出発をして天気にも恵まれ友達と共に楽しく過ごす事が出来て本当に良かったです。今回参加出来なかった年配の方々に土産話をして聞かせたいと思います。

波倉 男性

体の不自由なお年寄りに寄り添う町民の姿を見て安心した。必ず再生の道が開けると信じられた。

上井出 男性

初めての参加で、毎朝通勤時にラジオを聴いていて永山先生の番組も聴いていました。今回その永山先生にお会い出来て良かったです。



白糸の滝

下小塙 女性

待ちに待った町民号の日、朝から気もそぞろに集合場所の東京駅に。集合場所には見慣れた顔が集まっていました。3年8か月ぶりに皆さんに会い生き生きとした顔にとても嬉しくなりました。慣れない土地での避難生活、悲しい事も苦しい事もありました。でも皆さんとお会いして一変しました。2泊3日の旅でしたがとても楽しい時を過ごすことが出来ました。



民謡アイドル永峯恵さんの相馬盆唄に合わせて

大谷 男性

今回の町民号は3年8か月にも及ぶ長期避難生活の中、ふる里檜葉の絆の回復に絶好の機会となったと思います。特に11年ぶりの町民号が県内はもとより避難先の東京や埼玉からの参加もあり、久しぶりにふる里檜葉を思い出し将来の事など、この旅を通して考える3日間となりました。今後は町民の想いをひとつにふる里再生へつなげるイベントとして定着させて頂きたいと思います。



伊勢神宮内宮参拝の様子

當団 女性

震災後初めて会えた人もたくさんおり再会できた事が嬉しくありがたく思いました。宴会時のDVDの映像からふる里檜葉町の良き所やこれからも伝え守らなければと思う所など改めて思い出して心熱くなりました。いつの間にか今住んでいる所に慣れてしまい住めば都になってしまっている。せっかく檜葉町が帰町するために全力を尽くしてもそこに人の姿や人の声がなければやっぱり寂しいと思えた内容でした。人が帰ってこそその檜葉町ですよね。



バス7台での大移動

たくさんのご意見、ご感想を頂きありがとうございました。

各種事業の紹介

1) 住宅清掃費補助事業（ハウスクリーニング）コールセンターの運営
町民の皆様からのハウスクリーニングに関する申込受付を行っています。

2) 第14回檜葉町町民号の実施

震災後、初となる町民号の企画などを行いました。

3) 飲料水供給施設水質モニタリング事業

檜葉町内に4箇所ある簡易水道の水質検査と施設点検を行っています。

4) まちめぐりバスツアー

町の復旧・復興状況を直接ご覧いただくためのバスツアーを実施しています。

今年3月にもバスツアーを予定していますのでぜひご参加ください。



まちめぐりバスツアーの様子

今後の予定

●空き家・空き地バンク事業

東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興の一環として、空き家・空き地バンク事業を通して住宅確保や生活再建の支援を行います。空き家・空き地の情報を集約し、町内外の利用希望者に情報を提供します。制度開始の諸条件が整った段階で改めてお知らせします。



●生活支援サービス事業

町へ戻った際の生活不安解消のため、町民のニーズに即した事業を行います。現在買い物・交通・住宅管理の面から制度設計を進めています。制度が整った段階で改めてお知らせ致します。



おねがい

未来へつなぐこころの輪

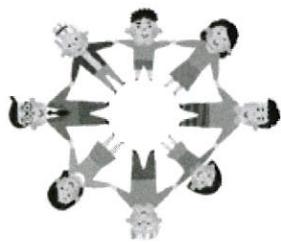
次の出演はあなたかも!?



ならはみらいのブログの中で、檜葉町での思い出やこれからの中の檜葉町についてなどの質問にお答えいただいくとともに、最後に次回出演頂ける方を紹介していただくという町民の皆様が主役のコーナーです。ブログを通して町民同士のつながりや絆を再構築し、皆さんの元気な姿を全国各地に発信していきます。そしてわたしたちの「ふるさと檜葉」を身近に感じ、思い出して頂きたいと思います。皆さんご協力よろしくお願いします。

基本的な流れ

多くの檜葉町民のみなさんをご紹介していきますので、ぜひご覧ください。



①インタビュー（取材）



②編集



③ならはみらいのブログに公開



【公開先】一般社団法人ならはみらいブログ
<http://ameblo.jp/narahamirai/>

檜葉町のタブレットから「檜葉町ホームページ」を開いて頂く、下部にあるを押して頂くと「ならはみらいのホームページ」が開きます。ホームページ上のを押して頂くと「ならはみらいのブログ」がご覧頂けます。



●ならは応援団についての紹介

ならは応援団とは

ならは応援団とは、楢葉町の復興を支援してくれる人材（労力）、知恵（アイディア）、活動資金を全国から集結させるための制度です。

〈活動方針〉

ならは応援団は、楢葉町の復興のために必要な人材（労力）、知恵（アイディア）、活動資金を提供し、町の復興と町民の生活再建に貢献します。

〈活動内容〉

〈きずなの再生・新生〉

町内の温かなきずなをよみがえらせるとともに、町外の人との新たなきずなを生み出し、それを維持してゆきます。

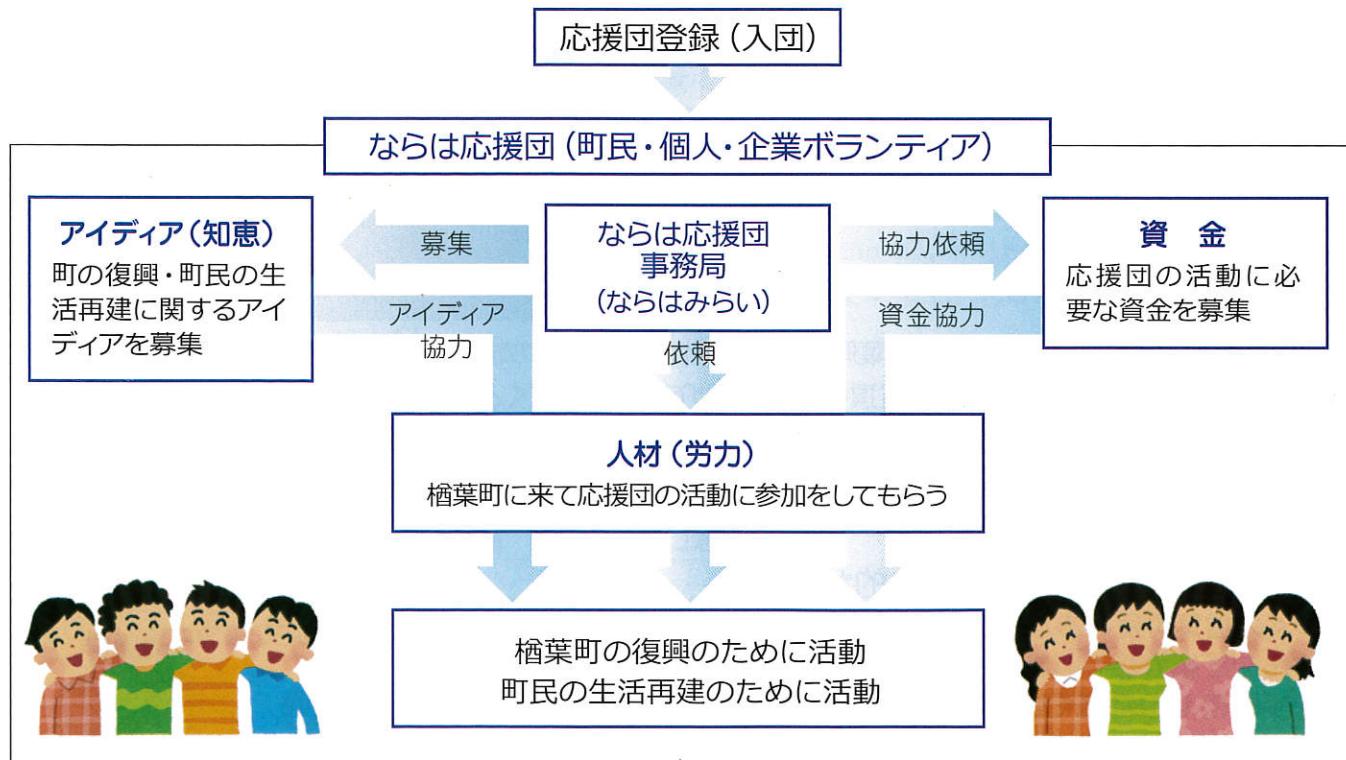
〈安心の再生〉

町民に寄り添ったきめ細やかな活動により、放射能の不安や帰町後の生活に対する不安の払しょくに努めます。

〈活力の再生・新生〉

町の復興、自宅での生活再建に係る活動を展開し、町民の心身の健康維持と地域経済の復活を目指します。

●ならは応援団制度のしくみ



応援団に関する準備が整い次第募集を開始致しますので、ぜひご協力ください。

「こんな事をやりたい」などアイディアがある方は、ならはみらいまでご相談ください。



一般社団法人ならはみらい

住所 〒970-8044 福島県いわき市中央台飯野三丁目3番地1号 いわき明星大学大学会館3階

電話 0246-88-7471 FAX 0246-88-7472

〈ホームページ〉 <http://www9.ocn.ne.jp/~naraha31/index.html>